

令和5年9月14日

鳥取県知事定例記者会見

早期の復旧・復興に向けた予算措置・国との折衝

◎過去最大の風水害 昭和62年台風第19号に次ぐ農林・土木被害額(316億円)

◎これまでの防災・減災対策により、人的・住家被害を抑えられた

- 国土強靱化対策によるハード整備 (平成30年度以降、約530億円規模の予算を投入)
- 情報周知手段の整備と普及啓発 (あんしんトリピーメール、防災フェスタ等)
- 鳥取県の支え愛を活かした防災対策の推進 (支え愛マップ、災害時支え愛活動等)
- 気象情報、避難情報の仕組みの高度化 (顕著な大雨情報、避難情報の見直し(緊急安全確保等)等)
- 防災・危機管理部門の体制・人員の強化 (4課1地方機関54名体制)

| | 令和5年 台風第7号 (8/14~17) | 昭和62年 台風第19号 (10/16~17) |
|------|-------------------------|----------------------------|
| 人的被害 | — | 死者4人、重傷者3人、 軽傷者2人 |
| 住家被害 | 全壊1棟、半壊1棟、 床上浸水12棟 等 | 全壊4棟、半壊12棟、 床上浸水677棟 等 |

災害復旧・復興対策予算

災害復旧・復興予算 (9月補正+専決)

367億円

※災害復旧予算としては、H12の鳥取県西部地震関連
予算352億円を超え、過去最大の対策予算

<9月補正予算：331億円>

◆ 公共土木施設復旧 (181億円)

- 道路、河川、治山施設等の公共土木施設の復旧、河川の樹木伐採・掘削 等
- 河川護岸、治山・砂防堰堤の改良復旧 等

◆ 農林畜産関連復旧 (97億円)

- 農地及び農業用施設、林道・作業道の復旧 等

◆ コロナ禍や台風被害を乗り越えるための観光振興 (1.5億円)

- 旅行商品造成、情報発信強化、国際航空便の拡充に向けたプロモーション強化 等

◆ 災害激甚化への対応、防災・減災対策の強化(51億円)

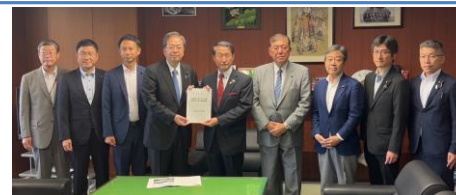
- 激甚化した災害被害(佐治川や国道482号沿い等)を踏まえた今後の防災機能向上に向けた専門家による調査研究
- 医療機関の浸水対策、道路冠水危険箇所へのWEBカメラ設置
- 台風第7号や今後発生する災害により被害を受ける公共土木施設や農林関連施設の早期復旧等を図るための復旧特別枠の設定(50億円) 等

<専決予算：36億円>

公共土木施設の応急復旧(27億円)、農林・商工・観光支援(7億円)、被災者支援等(2億円)

関係大臣への緊急要望

- 齊藤国土交通大臣、野中農林副大臣に対し、激甚災害の早期指定や災害査定迅速化・簡素化、未災箇所を含む一連の施設の改良復旧、必要な予算確保などを求める緊急要望を実施(9/13)



<齊藤国土交通大臣への要請>



<野中農林水産副大臣への要請>

「とっとり安心ファミリーシップ制度」スタート

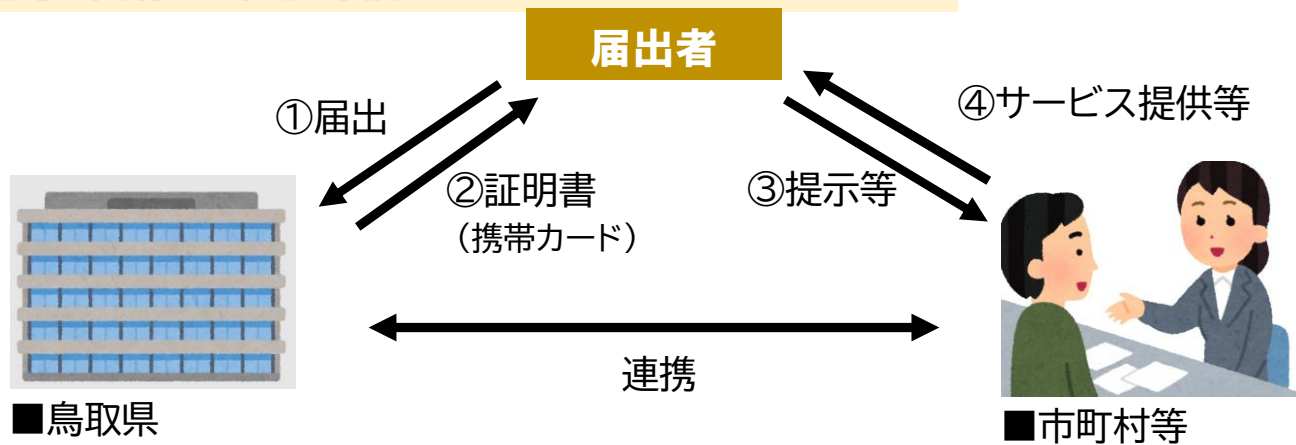
■同性カップルへの行政サービスの提供について現行の取扱いに加え、当事者の御意見をお聴きし、新たに**親子関係も届出対象とするファミリーシップ制度を構築**

⇒「ファミリーシップ」を冠し親も届出対象とするのは都道府県レベルでは初めて

■10月1日から運用開始

■とっとり安心ファミリーシップ制度

- ・宣誓ではなく**届出**（カミングアウト不要）
- ・**電子申請・郵送可能**



■市町村との連携によるサービス提供

現時点で17市町村が参加の意向
(5市町が10/1からサービス提供を開始予定)

<境港市の例>

- ・要介護認定
- ・公営墓地
- ・市営住宅
- ・住民票の記載（続柄を「縁故者」に）など

■県のサービス提供

- ・県立病院での病状・治療方針の説明
- ・県営住宅
- ・自動車税（環境性能割・種別割）の障がい者の生計同一者に対する減免
- ・県職員の休暇、手当等 など

9月補正予算総額34,177百万円

男性育休取得、子育て応援駐車場整備を支援

男性育児休業取得支援（1千万円）

- 中小事業者に社会保険労務士などの専門家を派遣し、**育児休業を取得しやすい環境整備を伴走支援**
- 男性育児休業取得を後押しする事業者に**奨励金を支給**
(代替職員を確保⇒12万円/月、同僚へ応援手当を支給⇒4万円/15日)

子育て応援駐車場整備支援（1千万円）

- 民間の子育て応援駐車場整備を支援
- ・駐車場の表示、看板設置など
(補助率2/3)



トスク承継に係る県・市町・JA一体となった対応

JA鳥取いなばの報道発表の概要(9/13)

【ちづ店・若桜店】(株)エスマートに引き継ぐ方向。早期開店目指す。

【吉成店】(株)エスマートに売却方針。店舗営業の引継予定なし。

【丹比店・用瀬店】複数の企業と引継交渉中。

【フレッシュライフいわみ】9月末日をもって営業終了。行政や地域等と店舗の利活用検討。

※本店:解体撤去予定。解体見込が立つまで交渉の対象にしない。

◆県は市町、JA鳥取いなばと連携しながら、買物環境確保に向けた取組を進めていく

今後の対応方針

- 市町・JA・県による情報連絡会議を開催(9/14)
- 買物環境確保推進交付金(予算額:1億円)で店舗承継や空白期間の対応をサポート

【空白期間が発生した場合の主な対応策】

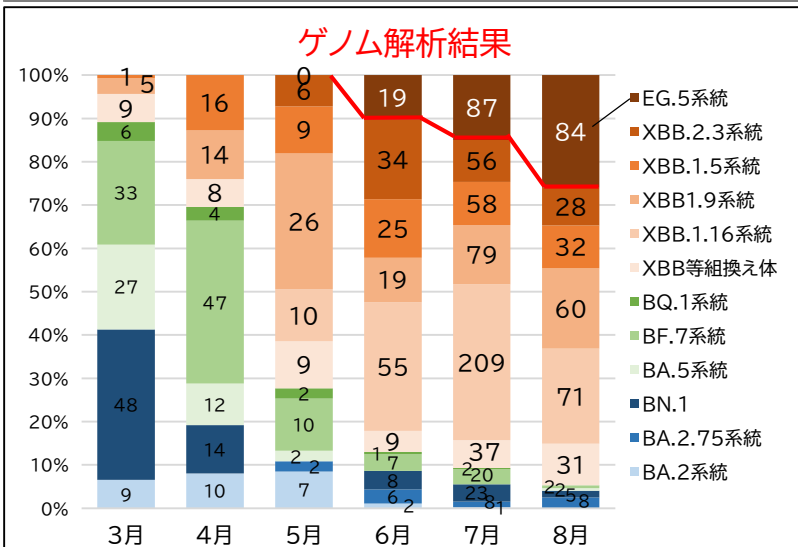
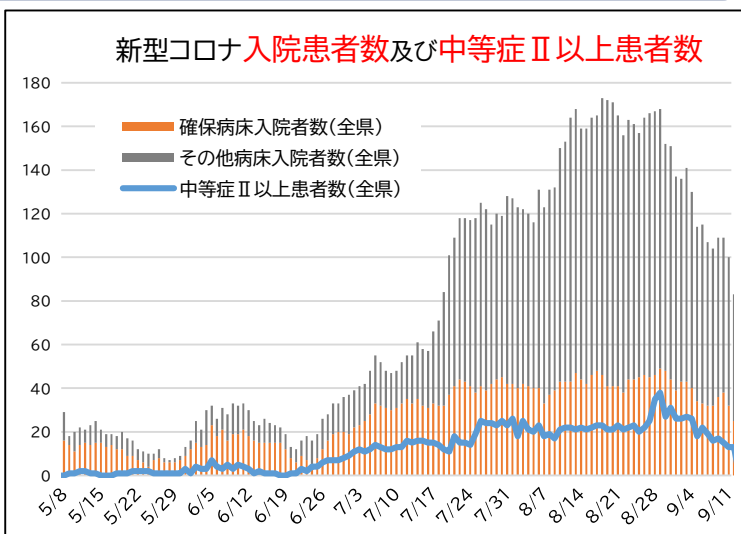
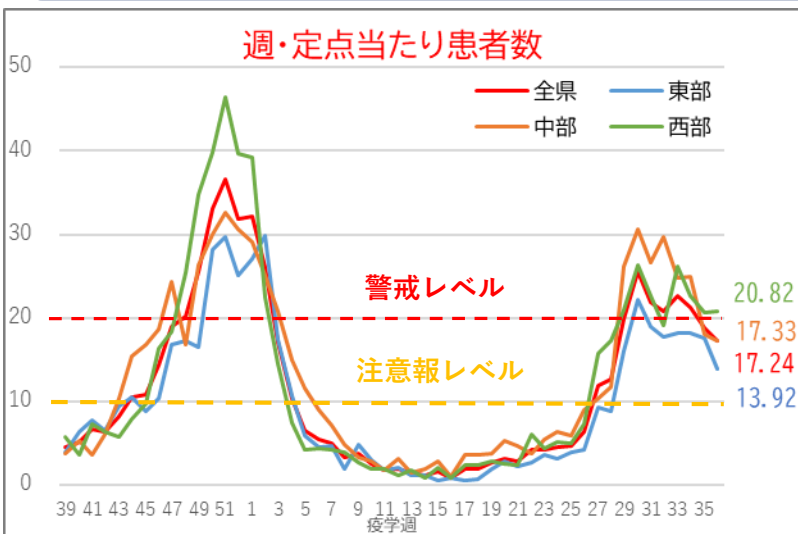
- | | | |
|----------|-----|--------------------------|
| 若桜町(若桜店) | >>> | 町外店舗への買物送迎バスの運行を検討中 |
| 智頭町(ちづ店) | >>> | 町内店舗への既存のデマンドタクシーによる買物利用 |
| 鳥取市(用瀬店) | >>> | 最寄りの店舗まで共助交通を拡充 |
| 八頭町(丹比店) | >>> | 最寄りの店舗への買物送迎バスの運行を検討中 |



※JA鳥取中央のAコープ赤碕店は東宝企業(株)への承継が決定。(10月6日オープン予定)

新型コロナの感染動向

- 週・定点あたりの患者数は、減少傾向ではあるが、下げ止まり、高い状態が続く → 全県で警戒レベルを継続
- 入院患者、中等症Ⅱ以上の患者は減少傾向 → 引き続き高齢者施設・医療機関の集団感染等の動向を注視
- ゲノム解析では、多くを占めていた「XBB.1.16」に代わり、世界・全国で増加している「EG.5」が増加傾向 → EG.5の重症度の上昇の知見なし ※BA.2.86は県内検出報告なし(9/7現在)



10月以降の病床確保等の取扱い

《全国知事会として国へ要望》

- 病床確保の弾力的な運用
- 治療薬の公費支援の継続
- 診療報酬上の特例

9/20以降のワクチン接種

- ◆9/20から希望する全ての方を対象として、XBB対応ワクチンの接種が始まります。
 - ◆重症化予防のため、**9/20から3/31までに接種をご検討ください。**
→重症化リスクの高い高齢者・基礎疾患のある方等は、特に接種をおすすめします。
→若い方も接種を受けていただけます。
- ※XBB対応ワクチンのメリット
オミクロンXBB.1系統の株に対応したワクチンを用いることで、重症化予防効果・発症予防効果の向上が期待されています。



本県の方針 9/20～3/31まで希望者全員が接種可能な体制整備

| | |
|------|------------------------------|
| 市町村 | 各圏域で広域の接種体制構築、住民への広報 |
| 医療機関 | 個別接種への協力、市町村及び高齢者施設会場等への協力 |
| 県 | ワクチンの配分調整、国への要望、オンデマンド接種での協力 |

市町村の接種体制

すべての市町村で予約受付中

接種券の送付方法 …対象者に順次発送中

- 対象者全員に接種券を発送 …13市町
倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、北栄町、大山町、日南町、日野町、江府町
- 前回接種から3か月以上経過した、接種券が手元にない方に発送(未使用の接種券がある方はそれを利用) …6市町村
鳥取市、米子市、琴浦町、日吉津村、南部町、伯耆町

※集団接種実施予定 …14市町村
倉吉市、境港市、若桜町、八頭町、三朝町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

➡うち県による支援(オンデマンド型出張県営接種) …9市町村
倉吉市、若桜町、八頭町、三朝町、琴浦町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町

本県における「脱法大麻」等の対応

現状の課題

○大麻の有害物質の構造を一部変え「脱法」状態にした製品販売 → 全国で健康被害

今後の対応方針

○鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例(H26改正)により、物質名を特定せず危険薬物として取り締り

※本県の条例改正後、国も薬機法を改正し、物質名を特定しない規制を導入(使用や所持等は対象外)

- ・関係機関と連携強化、事案の早期探知
- ・条例を県民に周知

県条例における危険薬物としての規制 【鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例】

- ・大麻、覚醒剤、麻薬等と同等に、興奮、幻覚、陶酔等の作用を人の精神に及ぼし、健康被害が生じるおそれがある物であって、人が摂取し、又は吸入するおそれがあるものを「危険薬物」として定義
- ⇒製造、栽培、販売、陳列、広告、所持、摂取、吸入等の行為を禁止
- ⇒立入調査、警告、中止命令等、従わない者に対する罰則

鳥取県では、危険ドラッグの製造、販売等はもちろん、
所持、使用することなども条例により禁止されています！

更年期特有の不調を抱えて働く県職員に対する支援

◆ 更年期症状により勤務に支障がある場合の休暇（特別休暇）の新設案（人事委員会と調整中）

- 年間5日以内（有給、日又は時間単位）
- 対象：職員が更年期障がいのため勤務が著しく困難である場合（年代、性別問わず）

◆ 相談対応、更年期症状に関する定期的な情報提供の実施

- 相談窓口の設置（職員支援課内に随時相談窓口の設置、保健師による定期的な相談開催（東部・中部・西部））
- 更年期症状に関する啓発（具体的な症状やセルフケアの方法、相談機関の紹介などの情報発信、職場の理解促進）
- ⇒ **特別休暇新設にあわせ、HP上に更年期症状に係る情報を集約したサイトを開設（職員が誰でもアクセス可能）**

9月9日米子バイオマス発電所火災への対応

○出火原因の究明、安全対策の徹底及び施設の停止について事業者へ文書で申入れ(9/12)

○経済産業省に原因究明に向けた調査及び事業者への指導を緊急要請(本日)

○県、米子市及び専門家(学識経験者、消防関係)による調査チームを
立ち上げ現地調査を実施(9月中)

⇒再生資源燃料への対応の在り方について検証

○経済産業省等、政府に対してバイオマス発電所の安全対策を要請

○事業者に対して施設運営の改善を要請

(来月初旬)



【近年の全国のバイオマス発電所における火災の状況】

H31年4月 京浜バイオマスパワー発電所(川崎市)

R2年10月 ひびき灘石炭・バイオマス発電所(北九州市)

R5年1月 下関バイオマス発電所(下関市)

R5年1月 袖ヶ浦バイオマス発電所(袖ヶ浦市)

R5年3月 関西電力舞鶴発電所(舞鶴市)

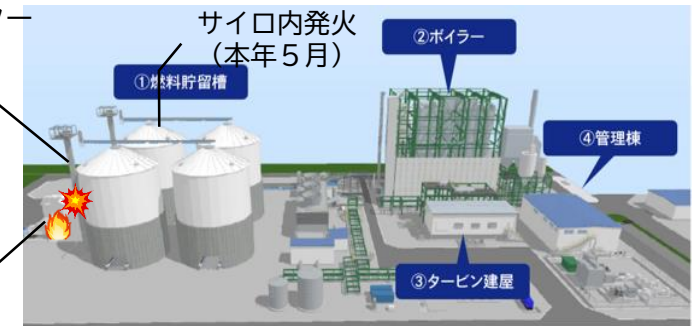
R5年5月～9月 米子バイオマス発電所(今年3回)

今年に入って4箇所

ペレット用エレベーター
今回発火箇所

サイロ内発火
(本年5月)

ペレット受入建屋
今回発火箇所



図は事業者HP (<https://www.yonago-biomass.co.jp/equipment/>) から引用

「先端技術と民主主義のあり方を考える研究会」の立ち上げ

第1回 9月15日(金)

□ 石井 夏生利 中央大学 教授

□ 狩野 英司 (一社)行政情報システム研究所 主席研究員

□ 亀井 智子 米子市元町通り商店街振興組合 理事

□ 小西 敦 静岡県立大学 教授

□ 定塚 由美子 (公財)21世紀職業財団 会長

□ 鳥海 不二夫 東京大学大学院 教授

□ 山本 健人 北九州市立大学 准教授

□ 山本 龍彦 慶應義塾大学大学院 教授

□ 横田 明美 明治大学 教授

■ 生成AIをはじめとした先端技術やネット社会の進展の中、民主主義や地方自治を適正に運営するためのあり方について研究

■ 月1回程度開催 本年度末を目途に成果をとりまとめ

(株) エースパック (廣川グループ) 倉吉拠点の事業拡張へ

需要増が見込まれる **サステナブルな新素材市場への対応**や
生産体制の強化のため、エースパック新工場を建設!



- ◆ 令和4年度に竣工した廣川マテリアル(株)の第2工場生産したプラスチックシートを、新工場にて容器に加工し、食品のロングライフ化や、冷凍食品など高まるニーズに対応
- ◆ さらにリサイクル素材等の新素材に特化した製品の開発・生産も実施

- ・立地場所: 現倉吉工場隣接地(西倉吉工業団地内)
 - ・投資規模: 30~40億円規模 ・雇用: 最大100名を想定
- ※令和5年秋から令和7年秋 倉吉市が団地造成工事 → 工場建設予定



⇒ **企業の設備投資に対して産業未来共創補助金で支援予定** (倉吉市にも、工業団地支援整備補助金で支援予定 (9月補正予定))

「魚を食べて日本の漁業を応援しよう」キャンペーンの実施

ALPS処理水による風評被害が生じている現状を踏まえ、魚を食べて日本の漁業を応援するキャンペーンを実施!

「食パラダイス鳥取県」いなば農産物フェスタ

(主催: 「食パラダイス鳥取県」いなば農産物フェスタ実行委員会)

日時: 10月14日(土)、15日(日) / 場所: 地場産プラザわったいな

内容: 「調理の技クッキングスタジオブース」(県出展)で風評被害を受けている地域の魚を使った料理をふるまい、国産魚をアピール

協力: (一社)鳥取県調理師連合会、(一社)鳥取県日本調理技能士会



フェスタでの調理実演の様子 (H30年度)

持続発展的なリモートワーカー育成等に関する協定の締結 (9/15 鳥取県庁)

とっとりリモートワーカー育成・実践事業 (とりも) で連携する官民5団体が
デジタル人材の育成や就労支援等に向けた官民連携を強化!

協定締結団体: でじたる女子活躍推進コンソーシアム (MAIA SAPジャパン、グラミン日本)、スマートワーク(株)、(有)クレイド、NPO法人bankup、鳥取県

デジタルスキルを稼ぎながら学べる
リモートワーカー育成事業
185名応募、55名合格
3つのプログラムが順次スタート



暮らしのそばから、
あなたちに働く第一歩を。

タイガーエア台湾との覚書締結

タイガーエア台湾(陳漢銘[チェン ハンミン]董事長)と将来の定期便就航に向けた覚書締結 (9/12)

【覚書内容】

- ・将来の定期便に向け、ロングチャーター便の運航に努める。
- ・国際交流と相互理解を促進するため、観光関連イベント・活動で協力する。



覚書締結式の様子

⇒覚書締結を受け、「台湾からの新規定期便就航に向けた情報連絡会議」を開催し、今後の戦略等について意見交換を実施

- ・日時、場所：9月15日(金) 10時30分～11時、県庁特別会議室
- ・出席者：知事、副知事、鳥取県日台親善協会、各商工会議所、国際定期便利用促進協議会、日本旅行業協会ほか

台湾での物産・観光キャンペーン

県と生産者団体が連携して、鳥取県のおいしい梨と観光の魅力をアピール！

食パラダイス鳥取県観光大使2人が会場でSNSのライブ配信やります！

▼新光三越(9/16(土) 台北市(新店舗(Diamond tower店))で販促セレモニーを開催！)

- ・9/14(木)～17(日)に台北市(2店舗)と台中市(1店舗)でフェアを実施
- ・内容：梨の試食販売、わかとりメイツによるしゃんしゃん傘踊り披露、台湾で人気の日本出身女優のゲストトーク、食パラダイス鳥取県観光大使のライブ配信等

▼裕毛屋(9/17(日) 販促セレモニーを開催！)

- ・9/15(金)～17(日)に台中市(1店舗)でフェアを実施
- ・内容：梨の試食販売、わかとりメイツによるしゃんしゃん傘踊り披露等



蟹取県へウェルカニ！

秋の観光シーズンの誘客に向けて、蟹取県ウェルカニキャンペーンを展開

宿泊&応募で毎月100名にカニが当たる！

- ・県内の対象施設に宿泊すると抽選で旬のカニをプレゼント(～R6.2/29)

【新】スマホで簡単！デジタルスタンプラリー！

- ・指定スポットを3つ回ると抽選で蟹取県詰合せセットが当たる！！(～R6.1/31まで)

【新】冬まで待てない《アンケートでチャンス！》

- ・蟹取県に関するアンケートに答えると抽選で1名に鳥取旅行券が当たる！(～9/30まで)

鳥取県手話言語条例制定10周年記念 オープニングセレモニー

- 手話言語条例制定10周年を記念し、「新たな手話言語の時代」に向けたパネルディスカッションと東京2025デフリンピックへの期待を込めたトークセッションを実施！

日時：令和5年9月16日(土) 午後1時～

会場：とりぎん文化会館

[パネルディスカッション]

全日本ろうあ連盟 石野富志三郎 理事長

全国手話言語市区長会会長 星野光弘 富士見市長

ほか

[トークセッション]

早瀬憲太郎 氏 (デフリンピック選手 [自転車競技]・映画監督)

鈴木大地 氏 (元スポーツ庁長官・オリンピックメダリスト [競泳])

ほか



鳥取県手話言語条例制定10周年記念 第10回全国高校生手話パフォーマンス甲子園



- 過去最大の予選(69チーム)を勝ち抜いた15チームが、佳子内親王殿下御臨席の下、熱い闘い！
- 4年ぶり入場制限無しで開催！

日時：令和5年9月24日(日)

会場：とりぎん文化会館



第9回大会優勝
坂戸ろう学園・大宮ろう学園

- 総合司会、演技司会、ボランティアなど **高校生を主体とした大会運営**
- **県内ろう学校と小学校の児童のコラボ**や、**高校生と小学生のコラボによるパフォーマンス**も実施
- 韓国江原道の聖修(リッス)女子高等学校の生徒がゲスト参加。**国境を越えたイベント**

とっとり手話フェス「オリジナルmilky-BOX」限定販売！



<ベコちゃん面>



<門さんイラスト面>

- 鳥取県で初開催となる「とっとり手話フェス」を記念し、(株)不二家とコラボした記念商品を限定販売！
 - フェス会場内での販売に加え、ネット販売も実施！
- ※ 売上げの一部は、手話言語の普及啓発活動へ寄付。

鳥取県西部総合事務所 3号館・米子市役所糶町庁舎 供用開始

- 県と米子市がPFIで共同整備をした合同庁舎が10月2日から供用開始。
- 県・市双方の庁舎施設整備・維持管理費の低減（約9%・1.7億円の削減効果）

開庁式 9月30日(土)



設計・施工・監理：がいなSSJパートナーズ(株)
初めて県内事業者が代表企業

新庁舎の特徴

- 人と環境にやさしい庁舎
 - 「とっとりUD認証施設」第1号を最高ランクで取得
 - 省エネ性能が高い建築物として「BELS」（ベルス）の最高ランク及びZEB Ready（ゼブ-レディ）認証取得
- 災害に強い庁舎
 - 耐震機能に優れた設計・太陽光発電設備によるバックアップ電力の確保
 - 非常用発電機の屋上配置による災害時における庁舎機能の維持

県と市の業務連携で住民サービスの向上

| | |
|----|-----------------------------|
| 3階 | 県米子県土整備局 |
| 2階 | 米子市都市整備部（建設企画課、都市整備課、道路整備課） |
| 1階 | 県環境建築局（建築住宅課） |
| | 米子市都市整備部（建築相談課、住宅政策課） |
| | パスポートセンター |
| | 鳥取県住宅供給公社 西部事務所 |

あおや かみじろうLINEスタンプ販売開始！（9月15日～）



ねんりんピック開催まであと400日！
みんなでねんりんピックを盛り上げましょう！

1セット40種類、120円（税込）



全国知事会等における新たな役職

令和5年9月3日に村井宮城県知事に全国知事会長職を引き継いだ後も、全国知事会の改革に向けて、今後も積極的に参画していく。

- <全国知事会> 副会長(就任手続中)、新型コロナウイルス緊急対策本部長
- <その他> 新型インフルエンザ等対策推進会議委員(内閣官房:新)
地方制度調査会委員(総務省)、栄典に関する有識者(内閣府:新)
令和臨調「知事連合」代表世話人(新)、自然エネルギー協議会会長(新)
地方公共団体情報システム機構代表者会議議長(新)